

Since 1973

No.159

エヴァンゲリウム・カントライ

2025年
6月

Evangeliums Kantrei

『神のことばの宣教』

青山 潤



「イエスはご自分に起ころうとしていることをすべて知っておられたので、進み出て、『だれを捜しているのか』と彼らに言われた。」

ヨハネの福音書 18章4節

「カントライをお呼びしてコンサートを行いたい」という声は以前からありましたが、今年のイースターを前に受難曲コラルという形で実現しました。過去の記録を見ますと1973年10月に特別伝道集会で、2002年12月にクリスマス・コンサートとして浜田山教会にエヴァンゲリウム・カントライをお呼びして演奏会を行ったようです。今回で3回目でしょうか。カントライ練習の場として以前使っていたこともあり、また教会員の中にもメンバーがいますので、身近に感じていました。

ヨハネ受難曲は、ヨハネの福音書18、19章の朗読を中心に行うと聞きましたので、このコンサートまでの6週間、礼拝においてその箇所を取り上げてメッセージし、共に十字架に向かう主イエスの姿、またそこに登場する人物の思いを探りめぐりました。

このコンサートには教会員有志を参加させて頂き、短い期間ですが賛美と朗読の訓練を

受けて共に臨むことが出来たことも、ヨハネの福音書に記された主イエスの十字架への歩みをさらに自分に重ねて考える機会となったと考えています。

賛美とみことばに示された、イエス・キリストの十字架の栄光を輝かせ、福音を伝える。ここに徹底しようとするカントライの姿勢から多くを学びました。

バツハを始めとする先人たちの信仰を受け継ぎ、主イエスの働き・神のことばを伝えるカントライの賛美、朗読されたみことば、その声の響きを今でも思い起こします。同時に主イエスが十字架に向かう情景が目目に浮かびます。

地域の方をはじめ、教会に関わる多くの未信者の方たちが来られたこと、そして福音をダイレクトに伝える機会となったことを感謝しています。この働きが続けられ、これからも用いられるようにお祈りしています。

(JECA浜田山キリスト教会 牧師)

※カントライニュースはホームページで、より鮮明にご覧いただけます。→最終ページのQRコード



2024年度プレカントライ報告

2024年度のプレカントライは、千葉、神奈川合わせて24名の皆様と学ぶ、恵みの機会が与えられました。締め括りとして2024年3月22日(土)に賛美礼拝を持つことが出来ました。参加者の皆様、祈りをもって送り出してくださった教会、ご家族の皆様にも感謝いたします。また、会場教会としてご協力くださいました保守バプテスト津田沼教会、長津田キリスト教会の皆様にも感謝いたします。

以下、参加者の皆様からのご感想を紹介させていただきます。

- ・楽しく学ばせていただきました。皆さんと賛美できて良かったです。
- ・良い時を過ごすことができました。
- ・他の教会の方と一緒に練習することが刺激であり励みでした。
ただ歌うだけでなく、ことばと音のつながりをよく味わえるようになりました。
賛美できることの感謝がたくさん与えられました。
- ・難しい曲でも主が機会を与えてくださり、主をほめたたえる事を第一とせよと教えてくださった1年間はとても豊かな時でした。
- ・学びと練習と継続性の大切さを感じました。
- ・途中からの参加でも喜びをもって賛美できました。
- ・賛美はみことばを味わうものであることを改めて学ぶことができ感謝でした。
- ・先生の説明がわかりやすかったです。
- ・教会に聖歌隊が無いので、このような機会が与えられて感謝。知らなかった賛美も皆さんと歌うことが出来て良い時を過ごせました。



2024年3月22日(土) 賛美礼拝

浜田山キリスト教会コンサート(4/12)報告

朗読とコラールによる「ヨハネ受難曲」(J.S.バッハ)



～みなさまからのご感想を掲載させていただきます。お祈りとご協力に感謝いたします～

〈浜田山キリスト教会の朗読、コラール 参加の皆様から〉

- ・朗読は難しかったがよい経験をした。楽しかった。
- ・これほどヨハネ18、19章を読んだことはなかった。感謝だった。
- ・教会の有志が参加することで教会全体がひとつとなった。
- ・カントライと合同練習は緊張感があった。斉藤先生のご指導でみことばが迫ってきた。練習はまるで礼拝のようだった。
- ・セリフもコラールも聖書の内容を声に出して表現することは、ただ目で読んでいるのとはいかに異なるか教えられた。
- ・全員揃ってから練習を始める姿勢に合唱の心得を知り感銘を受けた。
- ・他の人の声をききながら心をひとつにして神様に向かって賛美できるのはこの上ない喜びだった。

〈来場者の皆様から〉

- ・クリスチャンだが朗読とコラールという形をとおしてあらためてイエスさまの受難の苦しみを覚えた。
- ・イエス様が十字架にかけられた意味を考えるきっかけになった。
おばあちゃんが一生懸命歌っている姿に感動した。(参加者のお孫さん24歳)
- ・かつて家庭集会でヨハネの福音書を勉強したことをなつかしく思い出した。
- ・どんなコンサートなのか想像がつかなかったがすごくよかった！感動した！
- ・復活祭を迎える際のよい準備となった。(クリスチャン)
- ・日本語だったことがわかりやすく助かった。



浜田山教会の皆様とカントライ



Information !

2025プレカントライ in神奈川

- ◎日時：2025年6/17、7/15、9/16、10/21、11/18、
2026年1/20、2/17、3/17
(それぞれ第3火曜日、①-④前期、⑤-⑧後期)
- ◎時間：19:00-20:30(休憩あり)
- ◎会場：JECA長津田キリスト教会
- ◎主な練習内容：簡単なカノン、みことばの歌など

聖歌隊の学び、共に賛美したい方、お待ちしております。
詳しくは、ホームページ、案内文書をご参照ください。
引き続き千葉でもご参加をお待ちしています！

2025年 活動予定

2025年 6月17日(火) プレカントライ神奈川スタート
11月22日(土) 九十九里教会クリスマスコンサート

* 今後の状況によって変更の可能性がありますので、ご確認をお願いいたします。

献金2025年3月-5月

() 内の数字は件数です。

尊い献げものをありがとうございました。感謝をもってご報告いたします。(敬称略)

<賛助会> (教会) 川越聖書教会、前橋キリスト教会(3)、木場深川キリスト教会
東京聖書教会(2)、宇都宮聖書バプテスト教会、長津田キリスト教会(2)
北栄キリスト教会(3)、かもい聖書教会、浦和福音自由教会

(個人) 飯島勅・千雍子(3)、高張美恵子(2)、潮田徹、石川澄、池田憲生・未知
橋本玲子、塚本志津

<献金> (教会) 東京聖書教会(2)、湘南ライフタウンキリスト教会(3)
(個人) 匿名、団員

編集後記

コロナ禍後、久しぶりに浜田山キリスト教会で朗読とコラールによるヨハネ受難曲の演奏会を終え、受難節に十字架のみことばと賛美を学ぶことの大切さを再確認いたしました。私たちに必要なことを示して下さいる主に感謝申し上げます。カントライのこれからの歩みのためにお祈りいただけると幸いです。(事務局)

〒251-0861 藤沢市大庭5529-8シャルマンコーポ404 小山方 Tel. 070-2834-4304

郵便振替 00100-3-21060

聖書 新改訳2017©新日本聖書刊行会

